

2023年6月29日

各位

会社名 株式会社ティムス
代表者名 代表取締役社長 若林 拓朗
(コード：4891 東証グロース市場)
問合せ先 取締役 伊藤 剛
(TEL. 042-307-7480)

公益財団法人微生物化学研究会との共同研究契約締結に関するお知らせ

株式会社ティムス（以下「当社」という。）は、公益財団法人微生物化学研究会（所在地：東京都品川区、理事長：柴崎正勝、以下「微生物化学研究会」という。）との間で、2023年6月23日付にて化合物探索に関する共同研究契約の締結手続きを完了いたしましたので、お知らせいたします。

当社は、パイプライン拡充の一環として、AIを活用した化合物生成を含む複数のアプローチを活用し、新たな医薬品候補化合物の探索を進めております。本共同研究は、微生物化学研究会が有する微生物ライブラリーや化合物ライブラリーの一部をご提供いただき、当社が検討しているターゲットに作用する天然由来化合物のスクリーニングを行うものであります。当社といたしましては、本共同研究が当社の今後のパイプライン拡充に貢献するものと期待しております。

なお、本件は探索的段階であるため、本件が当社の今期業績に与える影響は軽微であります。

【微生物化学研究会について】

1958年梅澤濱夫博士の発見したカナマイシンの特許収入を基金として発足。「微生物に関する研究を行い、広く有益な物質を発見するとともに、その開発利用を図ることによって、特に、疾病の予防及び治療の促進に資し、もって国民の健康と福祉の増進に寄与する」ことを目的として研究活動を推進。特に、独自に保有・拡充している天然物ライブラリー・菌株ライブラリーを活かし、有用な新規活性物質（抗生物質、抗がん剤、その他の疾病治療薬等）の開発研究に注力。2018年に公表されたNature Index 2018 JAPANにおいて、自然科学分野で高品質な科学論文を最も高い割合で発表した日本の研究機関第一位を獲得。

詳細はウェブサイト (<https://www.bikaken.or.jp>) をご覧ください。

【株式会社ティムスについて】

黒カビ由来のSMTP化合物群から成る、差別化された革新的なパイプラインを保有するバイオベンチャー。リードパイプラインのTMS-007は、急性期脳梗塞を適応症としており、前期第Ⅱ相臨床試験において高い有効性と安全性を示し、2021年6月にその権利を米国バイオジェン社に譲渡。後続の新薬パイプラインであるTMS-008は、急性腎障害等を適応症として開発を進めている。また、アカデミア等の研究をグローバルの医薬品市場に展開することを目指し、主に国内のアカデミアの早期開発段階の創薬シーズに着目し、新規パイプラインの拡充を図っている。

詳細は当社ウェブサイト (<https://www.tms-japan.co.jp>) をご覧ください。

以上